

江北町

議会だより

No.149

平成30年
12月定例会

平成31(2019)年2月1日発行

CONTENTS

- 一般質問
- 各常任委員会
- 常任委員会合同
行政視察研修報告
- 臨時議会
- 江北さんいらっしゃい
- 編集後記

「ゾーン30」への整備導入は



池田和幸 議員

町長 町長歩道も車道も分離をしている幹線道路への導入は難しい。その内側の生活道路は、考えていく必要がある

議員 「ゾーン30」の概要は、生活道路の安全な通行を確保することを目的とし、最高速度30km/hの速度規制を実施して、ゾーンの中の速度規制や抜け道とする車両の抑制等を図る生活道路対策である。

「ゾーン30」に対する捉え方は。

総務課長 ゾーン内を抜け道として通行する行為とか、抑制等を図るために重要で有効な施策と考えている。

議員 駅南には多くの住宅地が造成されている。町営である住宅地や来春開園する保育園もできる。生活道路としての機能を果たす上からも必要性を感じるが。

町長 歩道も車道も分離をして



いる幹線道路への導入は難しい。その内側の生活道路は、考えていく必要がある。

議員 交通事故の問題や住宅の進出とか、形が変化していると思うが。

町長 「ゾーン30」が交通安全対策、減少の決定打との認識はない。

議員 「ゾーン30」の指定が難しい幅が狭い道路も対象にできるよう、県警が独自に整備している「ライン30」との併用はできないものか。

町長 道路の幅が狭いからでなく、30km/h規制になっている路線でも、スクールゾーンの取り入れることは可能と思う。

議員 現在も、住宅内の抜け道として使われている状態で、住宅エリアとして導入が今後必要になると思うが。

町長 恐らく町内の交通事情が変わってくると思う。このことを踏まえて、必要に応じて団地内の交通対策が必要と思う。

防犯灯のLED化の進捗状況は

町長 今後10年以内には、全てLED化をしていく

議員 5年前からすると、蛍光灯タイプがLEDタイプに交換されている。足元を照らすLEDは歩行者の安全や犯罪の抑止力にもなる。まず町内における防犯灯の数は。

総務課長 11月現在で、801基です。

議員 LEDに交換された防犯灯の数は。

総務課長 117基あり、新たに新設した分が90基、LEDの防犯灯の数は207基。

議員 申請が出ている分で来年度への繰越しは。

総務課長 今年度の申請分も整備工事は終わっている。要望があった分は全て完了していて、設置できていない

のではない。

議員 設置の申請順は、また新設の申請は。

総務課長 毎月の区長会で照会をして、要望により交換・新設を行っている。順番は白熱球を優先的に交換している。

議員 LED交換への年次計画は。

町長 あと約600基がLED化していないので、年間に60基を交換していきたい、今後10年以内には、全てLED化をしていく。



江北町業務継続計画の策定は



ふちかみまさあき
村上正昭

議員

町長 庁内にプロジェクトチームをつくり、31年度中には策定したい

議員 大規模災害において庁舎が崩壊し、防災拠点として機能しない場合でも、町民への重要業務をなるべくスムーズに行うことができるよう、庁舎被災時の業務体制を定めておくことが重要である。このことから、業務継続計画（BCP）の策定状況と庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定について、再度問う。

一点目、平成28年6月議会で、業務継続計画の策定状況についての一般質問に対し、現在は策定していないが、安全・安心なまちづくりを進めるためにも速やかに策定をしていくとの答弁であったが、現在の策定状況は。

総務課長 まだ策定していない。

議員 行政による自助、共助に係る研修や

訓練等を実施していることから、町民の災害に対する関心は高まっている。

これまで、幸いにも大きな災害はなかったが、早急に江北町に合った業務継続計画を策定すべきでは。

町長 災害への対応、また備え、町民の皆さんの安全・安心を守るというのは、ほかの全てに優先されるべきであり、私もこの3年間そうした観点で対応してきた。しかし、現時点で策定していないことについてはおわびをする。また、指摘をいただいたときに、策定しておくべきだったと深く反省をしている。

今後は、我が町らしい業務継続計画をつくるという意識で策定に臨みたいと思っているので、庁内にプロジェクトチームをつくり、

31年度中には策定したい。

議員 二点目、庁舎が使用できなくなった場合の代替庁舎の特定は。

総務課長 業務継続計画を策定していないので、今のところ代替の庁舎は特定していない。

議員 江北町内に代替として考えられる施設はあるか。

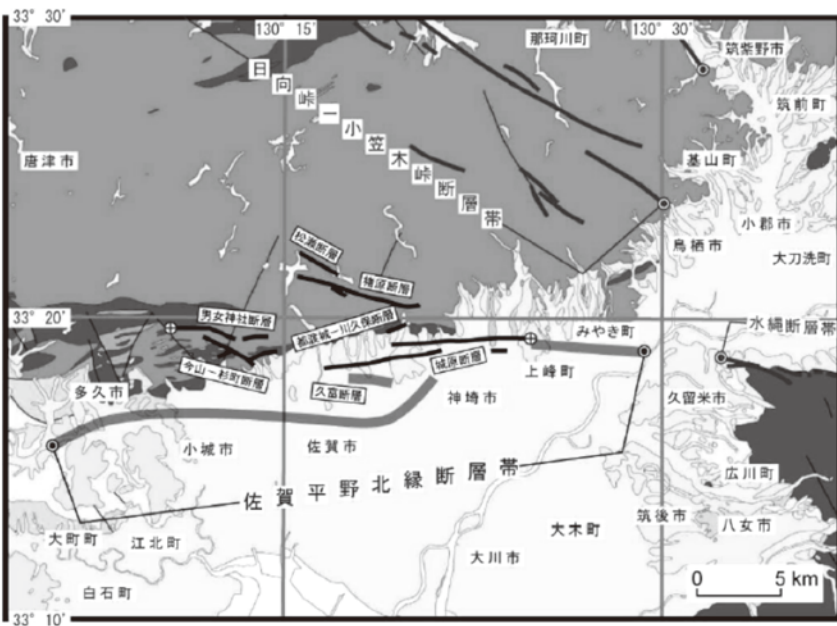
総務課長 江北町役場が一番頑丈な建物と思っているが、役場の他に考えられるのは、ネイブルかこどもセンターうるると考えている。

町長 想定される地震、浸水、火災など確度の高い危機からそれぞれの危機に応じた代替機能をどこに置るかということを経営継続計画の中で決めていく。

町内で言えば、役

場が比較的防災機能、防災力という意味では高いと思っているが、前の道路が寸断された場合のことを考えると役場周辺の、役場を含めた防災機能を高めるといったことも必要と考える。

◎佐賀平野北縁断層帯で、震度7が予測されている地域は、県内11市町で、その中には、江北町も含まれており、近隣市町では、大町町、白石町、多久市、小城市、武雄市が含まれる。



みんなの公園と防災について



田中宏之 議員

町長 みんなの公園に一定の災害対応機能を持たせるという事は是非やりたい

議員 31年の秋には我が町に新しい公園ができる。近辺では見たこともない都会的なセンスで、すばらしい公園ができて、江北町の目玉の一つになることを期待している。

今回の質問はこの公園を防災の施設、あるいは拠点としてはどのように町としてはとらえているのか質問する。公園ができる場所は町の中心でもあり、相当の予算をつぎ込んでの事業である。

是非、防災に対して、あるいは避難場所として重要拠点として活用できる仕組みを構築してもらいたい。

建設課長 公園は、芝生や駐車場などのオープンスペースが広いことや、町の中心部に位置している地理的状况などから災害時の対応を検討している。特に地震が発生した場合

は、家屋等の倒壊や火災のおそれがある。安全を確保する為の緊急避難場所や炊き出し、情報交換、救援物資の配布等を行う事のできる一時的な場所になる。また、車中泊者等へ駐車場の提供など、公園の機能に応じたさまざまな対応を想定している。今後、指定管理予定者と具体的に協議していく。ただし、全ての災害に対応はできないと思う。特に公園は平地であるため大雨による水害には対応ができないと思われる。したがって、公園を最重要拠点としての位置づけは考えていない。

議員 町としてそれなりの防災の拠点と考えている事は理解した。町長の考えはどのようなか。

町長 みんなの公園に一定の災害対応機能を持たせるということ

は、是非やりたい。しかし、公園に災害時の最重要拠点を担わせるのは無理があると思われる。公園で果たすべき機能がどういうものなのか、公園で備えておく備蓄品はどういうものなのか考えた。今後、指定管理予定者と協議をする前に町としては、公園にどういった災害に対する機能を持たせるのか、その為にはどういったものが必要なのか考え指導していきたい。



(仮称) みんなの公園 完成予定模型

議員 最近、新興住宅街でコウモリが増え家の中に住み着いて困っているという話をよく聞く。コウモリは小さな穴やほんのわずかな隙間から家の中に侵入し、天井裏等に巣を作り住み着く。住み着けば、糞の臭いはもちろん、湧いたダニやノミが天井裏から人の生活空間へと侵入し害を与える。しかし、コウモリや野良猫

に対する対応は

議員 最近、新興住宅街でコウモリが増え家の中に住み着いて困っているという話をよく聞く。コウモリは小さな穴やほんのわずかな隙間から家の中に侵入し、天井裏等に巣を作り住み着く。住み着けば、糞の臭いはもちろん、湧いたダニやノミが天井裏から人の生活空間へと侵入し害を与える。しかし、コウモリは鳥獣保護法に守られている為傷つけたり簡単に殺処分することができない。そういったことから住民の中には大変困っておられる方がいる。町としての対応は。

また、最近どこでも野良猫をよく見かける。かれらは元々野良ではなく、たどってけば、親、先祖は家猫だったはずだ。生まれて捨てられ野良猫になった。これを防ぐには町で避妊や去勢を奨励し、その費用の一部を補助してみてはどうか。

環境課長 コウモリについては対処法や専門の業者を紹介したい。野良猫の避妊や去勢については、昨今の状況からみて助成制度は必要と思われるので他市町の実情を検証し、今後導入に向けて検討したい。

井上敏文
いのうえとしふみ

議員



国から返礼品の見直しの指摘を受けた「ふるさと納税」今後の見通しは

町長 寄付額は減ると思う。今後、地場産品事業者の育成に努める

議員 ふるさと納税については、返礼品をめぐる自治体間の競争が過熱気味になっていることから、政府は法規制を強化するとの方針を出している。その内容は、過度の返礼品の抑止が目的であり、返礼品を給付額の30%以下の地場産品に限定し、違反した自治体は制度から除外し、寄付しても税の優遇措置を受けられなくするもの。この国の指摘を受けて見直しに動く自治体が相次いでいる。本町はこれまで35の返礼品事業者により、433品目を取り扱ってきた。11月からの見直し後はどうなったのか。

産業課長 返礼品事業者は23で34%の減、返礼品目は130で70%の減となった。

議員 ふるさと納税の寄付額が平成27年度は150万円であったが、

28年度からは寄付額の5割を返礼品に充てたことにより28年度が4億7千万円、29年度が7億7千万円と大幅に増えてきた。今回、総務省から指摘を踏まえ、本町も昨年11月から返礼品の割合を5割から3割へと舵を切った。昨年の同時期と比較して寄付額はどのようになっているか。

町長 29年度の4月から11月までは3億円であったが、30年の同時期と比較すれば



返礼品「大地の家」農産物詰合せセット

6千万円ほど増えている。これは10月までの駆け込み需要ではないかと思う。ふるさと納税はこれまでは年末にかけて活発化していたが、見直し後は品目も減っており、今年度の寄付額は減るものと思う。

議員 現在ふるさと納税の仲介業者は1社で行われているが、複数の業者に委託できないか。町の総合計画の中に地場産品の育成、6次産業起業者への育成

とある。ふるさと納税の収益があるうちにその寄付金の一部を充て、育成に努めたらどうか。

町長 仲介業者は必要に応じて来年度からは

増える野良猫、その対策を

町長 不妊・去勢手術の補助金は、必要に応じて導入していきたい

議員 最近野良猫が増え、地域住民の生活環境にも悪影響を及ぼしているとの声をよく聞く。ゴミをあさって周囲に散らかしている、などで住民は困惑している。猫は繁殖力が強く、このままの状態では増える一方であり、深刻な問題にもなりかねない。殺処分できないかとの声もあるが、動物愛護の法律により、保健所も捕獲できないとのこと。その対策と

増やしていきたい。また、ふるさと納税により町内事業者は活性化し、6次産業化につながったところもある。これからもこのいい流れを広げていきたい。

して猫の不妊及び去勢手術を助成する補助金制度を創設できないか。また、行政の方から地域に呼び掛け、地域と一緒に頑張って積極的に取り組む必要があると思うが。

町長 本町はまだ補助制度はないが、必要に応じて導入していきたい。まずは啓発活動として、飼い猫の適正な飼養、管理について力を入れていきたい。

三吉紀美子 議員



昨年9月議会における豪雨災害に対する業務引継ぎの改善策は

町長 今回も大規模な人事異動を行ったが、事務処理の徹底、共通様式での引継ぎはしていない。反省している

議員 昨年9月議会に業務引継ぎの質問した折、事務処理のマニュアルや継続して行う事務等の書類を後任者に引き継いでいる。庶務規定には定めているが様式、要項、要望書の取扱い等明記していないので整備を初め職員の見識の啓蒙を図っていくと回答された。1年を経過し4月大幅人事異動が実施されたが改善策がどの様に反映されたか。

町長 豪雨対策について地元からの要望書の所在が不明確で、その後の対応の記録がなくきちんと答えられず事務の引き継ぎ体制の質問があった折、早期に様式等も定めて実施したいと答弁したが今回も大規模な人事異動を行った折、事務処理の徹底は指示したが共通の様式で事務引継ぎをしていない。引継ぎの

要領は今の時点で定めが出来てなく深く反省している。平成31年4月1日付の人事異動に於ては要領を定め、要領の中に様式も決め引き継ぎが出来る様になりたいと思っている。我が町の役場は記録よりも記憶に頼る事が多い。住民への説明責任の観点からも記録を残す事が大事だと思う。異動対象者のみならず全員に自分の仕事の棚卸しをさせる。暫く時間を頂きたい。

議員 業務を遂行するに当たり絶対的に引継ぎは最重要課題と思う。

しっかり指導すると町長におまかせする。

町長 計画通り積極的に分別していく。

議員 社会長、吉丸

環境保全の見直しを

会長時代から分別リサイクル活動に取り組んできたが、最近地球規模のプラスチック海洋汚染が深刻な状態となった。

中国は輸入停止。放置され海洋流出問題等を考慮すれば焼却処理が現時点で望ましい方法ではないかと思うが。

環境課長 平成29年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画で分別を明記。焼却はごみの総量が増えるので分別回収を行う。

町長 計画を立てている以上積極的に分別すべきと思う。

議員 私達もがむしゃらに分別活動をしてきた。11月フジラの胃からプラスチック5.9kg、水道水からもマイクロプラスチックが確認された。魚がプラスチックを食べ、その魚を私たちが食べている。質

問に当たり役員と土井商会社長に武雄、鹿島に同行願い研修した。武雄では町長と同じ説明があり、鹿島では政府はごみ減量を言っているのになぜ焼却する？汚れたプラはよけられていた。もっと住民の意識向上を図るのは行政の仕事ではないのか。

町長 広報を含めて町民に理解していただく。

議員 資源物収集粗大ごみも隔月だが月1回に変更できないか。

環境課長 本町のリサイクル業者を積極的にPRし民間事業者の活用を図っていく。

町長 もやもんサービズを利用して欲しい。

子宮がん撲滅に向けて

町長 前向きに議論し出来れば早期に実現したい。

議員 女性の命と子宮

を守る為、元気な子どもがいつばいこの町に生まれてくれるように。HPVというのは殆どの女性が感染し、90%は免疫力で自然に排除され消失するそうだが、ウイルスが消えたかどうか検査するHPV検査を子宮がん検診にプラスして新たな検診方法を願うが。



町長 職員の調査報告でHPV検査併用で受診率も上がったとの報告で前向きに考えて良いのではと思うが、自己負担面で議論の時間を少し頂き、出来れば早期に実現したい。

議員 ぜひ早急な対応を期待している。

よしおか たかゆき
吉岡隆幸

議員



町営住宅（高砂）の今後の運営 山口駅北口周辺の繁栄 工場団地適用地の調査について

町長 わが町の発展と町民の安全、安心を第一に考える



老朽化した高砂町営住宅

議員 町営住宅に関しては、建て替えはしない、空き家になった建物には新規募集はしないで、政策空き家として管理し、その後解体するとの方針。現在、居住されている方々は今後も住み続けることは問題ないとの事、しかし、現在の建物は約40年を経過しており、住環境としては決していいものではない。今後の管理、運営をどのように考えているのか。

町長 町民生活を守るといふ観点から、現在居住されている方々の生活は守っていく。改修に関しても、アンケート調査を参考にし、提出されなかった方々にも連絡をして、不公平がないように対応し、来年度からの予算を検討、実施をしていく。

議員 肥前山口駅北口周辺のぎわいを取り戻す考えを町長は表明されている。戦後すぐに建てられた建物に関しては、県との話し合いで計画が進んでいると聞いている。

町長 しかし、このままだと衰退の一途をたどる結果になりかねない、共栄銀行の空きビル、県道北側にも問題ありと考えられる。民間からの相談があれば、協力する考えはあるのか。

町長 積極的に関与していきたい。今のところまで取り戻すところまでは行っていないが、駅弁復活もきっかけになればと思っている。県道の整備事業が2020年度に予定されており、安全の確保もできる。

議員 民間企業の開

町長 工場団地に関

町長 今は競争の時代である。江北町を



変革が望まれる肥前山口駅北口周辺

エネルギーの地産地消を求める!



土淵 茂勝 議員

町長 そうした取り組みを考えていきたい



太陽光発電設置家屋

議員 九州電力は10月12日、太陽光発電業者に対して、発電の停止を一時的に発表し、4日間実施、九州全域で原発優先と怒りの声が上がった。

九州は太陽光発電をはじめ、再生可能エネルギーの宝庫で、その発電量は原発8基分に相当する。九電が再稼働している川内・玄海原発は合わせて4機、原発なくても電力は充

分足りていると云う事だ。

江北町で太陽光発電を設置している民家、公共施設、事業者は何軒あるか。その発電能力、年間の発電量、また江北全体で、年間使用している電力量はいくらか。

環境課長 住宅用太陽光発電の出力は10キロワット未満、産業用は10キロワット以上を指す。住宅用は483

件、事業者は137件、公共施設では役場庁舎に設置。

発電能力は合計して6千590キロワット、年間発電量は1年間で合計723万2千2百28キロワットアワー。

江北町内における消費電力は、年間1億8千530万6千6百47キロワットアワー。

議員 佐賀県は、太陽光発電では全国1番と聞いている。原発のゴミ・使用済み核燃料の処分所もない、事故はなくても莫大な費用がかかるかと、小泉純一郎元総理は佐賀に来て語られた。原発即時ゼロ、未来あるエネルギー産業として、太陽光発電をはじめとした再生エネルギーを進めるよう訴え全国行脚をされている。

江北町として、財政

的な支援も含め、エネルギーの地産地消に取り組むよう求めるが。

ころだ。我々もいろいろな知恵を絞ってそうした取り組みを考えていきたい。

町長 私も同意すると

江北町内での太陽光発電設置件数と発電量

	設置件数	発電能力 (kw)	年間発電量 (kwh)
個人	483	2287.6	1,780,789
事業者	137	4303.3	5,451,439
合計	650	6590.9	7,232,228
江北町の年間電気使用量			185,306,647

注) 設置件数と発電能力 ~ 平成30年9月実績
 年間発電量 ~ 平成29年10月から平成30年9月まで
 * 町内年間電気使用量 ~ 平成29年10月から平成30年9月まで (九州電力調べ)

総務常任委員会

**一般会計補正予算
(第4号)**

修繕費

問 個別受信機の調子については町内の回覧板にチェック欄をつけてみては。

総務課長 個別受信機も長くなるので新品と交換したり、調査も含めて修繕という形で今回あげている。そのうえで班回覧にするか協議をして決めたい。

保育所等整備事業費

問 永林寺保育園既存園の保育所等整備事業について、5,784千円の増額になっているが。

子ども教育課子育て支援係長

根拠は、国の補助単価が引上げをされた。建設資材単価、人件費の引き上げによるもの。

問 保育所等整備事業で(仮称)江北ひ

かり保育園と永林寺保

育園の全体事業費は。

子ども教育課子育て支援係長

(仮称)江北ひかり保育園は、総事業費284,776,000円。永林寺保育園は、335,483,000円です。

中学校教育振興費

問 中学校教育で道徳が教科に入るといふことだが、年間通してコマ数が増えるということか。

教育長 週に一時間増える。

問 他の教科のように教科書があるのか。

教育長 教科書があり、その中に40本くらいの話がある。そこから、バランスよく選んで計画的に授業を行う。

**平成30年度江北町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
(全委員賛成)**

**平成30年後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
(全委員賛成)**

産業常任委員会

道路維持管理費

問 工事請負費6,480千円の増額は、上分の分譲開発地南側の水路管理用道路の整備費とのことだが、全体の整備箇所は。

建設課土木建築係長

工事予定箇所から町道を挟み東側(太陽光用地)の水路を除き、1号幹線水路から2号幹線水路間の水路の管理用道路の整備となる。

なお、町道東側(太陽光用地)の水路だけが整備されていない状況になるが、現状において建物は建っており、出入りすることは可能なため、整備せずとも水

路の管理はできる。

問 整備の延長は何メートルになるか。

また、分譲地と水路管理用道路との間にフェンスは設置するのか。

建設課土木建築係長

延長は75メートル。水路側に防護柵を設置する。

無資力臨港ポンプ等維持管理事業特別会計補正予算について

問 A重油単価が当初見込みの65円/ℓから92円/ℓに値上げしたことにより、鳴江

排水施設、城ノ井排水施設、朽木排水施設の燃料費を増額することだが、大西排水施設や東古川排水施設の増額はしなくてよいのか。

建設課耕地係長

今後の予定数量と予算残額を比較し、不足する可能性がある排水施設のみ増額補正をしている。

下水道事業特別会計補正予算について

問 江北グリーン

センター好気槽のブローを通常の2台運転から3台運転に切り替えたのは、流入量が増えたからか、または好気性菌に対し、供給する酸素量の不足か。

環境課下水道係長

嫌気槽の汚泥の腐敗により、汚泥の質が低下し、よく処理されていない水が次工程である好気槽に流入している。

問 もともと、3台中1台は予備と考えると、1台増設すべきではないか。

環境課長補佐 改善の見通しが立ってきたので、今後は2台運転に戻す。

問 水質が悪くなっ

ている原因は、流入汚水の量ではなく、質が悪くなっているのか。
環境課下水道係長 処理場内において必要な滞

留(反応)時間を確保できていないことが番の要因ではないかと思われる。現在整備している流量調整槽が完成すれば時間帯で変動する流入汚水の量を均一化できるため、処理水質はよくなると思っ

請願

日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書の採択を求める請願。

(国民、町民の生命・財産を守り、平穏な生活を保障するため、日米地位協定を見直し、日米間の対等な関係を構築するよう求める意見書。)

賛成少数で否決



議会閉会中の総務・産業常任委員会合同行政視察研修報告

◇東日本大震災後の復興状況についての視察
(十二月八日)

【宮城県気仙沼市】

東日本大震災から7年が経過した気仙沼市の復興事業の進捗状況と防災対策事業の実施状況について、担当者から説明を受けた。

震災復興に当たっては、震災前から市として抱えていた課題を一つでも解決することを念頭において復興事業に努められており、未来に向けたまちづくりが展開されている。

復興計画では、津波死ゼロのまちづくり、早期の産業復活と雇用の確保、職住復活と生活復興、持続発展可能な産業の再構築、スローでスマートなま



職員による復興状況の説明

ちと暮らし、地域に笑顔溢れるまちづくりの目標を掲げて各種施策を展開されており、仮設住宅から整備された住宅への転居や土地区画整備も進み、商業施設や商店等の進出もあり、整備も完成まじかであるとのこと。また、移住者やUターン者も増加傾向にあるものの、完全復興には、まだ時間を要するとのことであった。

防災対策事業の実施状況については、平成32年度までの10年間を見据えた「気仙沼市震災復興計画」を策定し、平成23年度

から平成27年度までの5年間を「集中復興期間」と位置付けて、震災後の津波防災対策の強化を図り、14地区で地区津波避難計画を作成し、また、自主防災組織の育成・強化を図り、自主防災組織率100パーセントを目指すとともに避難行動要支援者の一人ひとりの避難支援個別計画も作成したとのことであった。

気仙沼市では、毎月11日を「防災を考える日」とし、東日本大震災を忘れず、今後も発生の恐れがある地震や津波などへの備えについて、家庭や地域などで振り返りや点検などを行う機会とされている。

いつ起こるか分からない災害に対応するための防災危機管理体制強化の必要性を強く思った研修であった。

◇東京都足立区立江北小学校へのお礼訪問
(十二月九日)



校長先生との意見交換

国内の異なる地域の学校と児童による交流を行い、幅広い視野と協調性を備えた創造性豊かな人材を育成するための一環として、国内で唯一、江北小学校と同じ名称の足立区の江北小学校に、平成30年7月25日～27日(2泊3日)にかけて、江北小学校の6年生12名を含む総員16名が子ども交流団として派遣された。そのお礼を兼ねて足立区の江北小学校を訪問した。

校長先生から、江北町と足立区の子どもたちが、すぐ打ち解けて談笑していたことなどを聞き、これからも子供たちの交流が長く続き、大きく育ってくれることを期待し、学校を後にした。

◇南池袋公園の視察
(十二月十日)

本町で整備中の「みんなの公園(仮称)」の参考とするため、南池袋公園を視察した。

公園は、一年中みどりの芝生が広がる広場、多目的広場、桜の下に広がる桜テラス、滑り台やシーソー、回転遊具があるキッズテラスで構成されており、多目的広場横にはカフェ・レストランが営業されており、店員さんのお話では、いつも満席状態であるとのこと。また、当日は子どもから大人までを対象としたダンスフェス

みんなの公園(仮称)も、町民の交流の場、憩いの場、結び目の場となることを願うものである。



レストランから見た公園

臨時議会開催について

(仮称)みんなの公園工事請負 小中学校特別教室空調設置

工事請負費4億3000万円余 空調設備工事費1,870万円余を議決

平成30年12月21日臨時議会が開催された。内容はつぎのとおりである。

◆町長提案

1、平成30年度過疎対策事業としておこなう、(仮称)みんなの公園整備工事の仮契約を締結した。請負金額が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定めた金額を超えるもので、同条例第2条の規定により議決を求める。

2、今回の補正予算額は1,979万4千円を増額し、歳入歳出予算額を6億2,381万61千円とするものである。

内容は、熱中症対策として、小学校及び中学校の特別教室に空調設備を整備するものである。

◆(仮称)みんなの公園について

議員 公園の利用について、制限はあまり設けないといふことだが、この芝生の周りを犬と一緒に散歩することも制限はないか。

町長 配慮を持った利用をお願いしたいと思っている。スタート時点からさまざまな禁止事項は設けるつもりはない。

議員 財源として基金となつているがどのような基金か。また、土地代金は29年3月に支払われている。町所有の土地になつているが、なぜ1年以上も基金に返していなかったのか。

政策課長 基金については、ふるさと振興基金を予定している。

町長 買い戻しにあつた、町の負担を減らすため過疎債を使い

たいと計画していた。

最終的な過疎の内示が30年9月に出たので、過疎債が活用できるといふことで、実際の買い戻しが11月となった。

議員 過疎債については30年度で1億9千万円、来年31年度で2億9,600万となつているが、ある程度の試算、予算はできているのか。

町長 もちろん内示を受けた分は今年度分だけだが、県にヒアリングを受けた際、来年度の事業費も説明をしている。

財源確保に向けたさまざまな活動もやっている。2カ年わたつての事業で、それぞれの年度での事業進捗をみての予算配分。

議員 工事のスケジュール、地元への説明会は決まっているか。

建設課長 スケジュールについては、今から協議していく、地元説明会を行うよう計画している。

◆小中学校の空調設備について

議員 小学校で4、中学校で3の特別教室に空調設備を設置するということだが、未設置の教室はどういうところか。そこは将来も設置しないということか。

こども教育課長 小学校で残るのは、作法室、児童会室の2か所。中学校で、生徒会室、多目的教室、作法室の3ヶ所。

今回の設置の計画では、事業で使用する特別教室のうち、使用頻度の必要性を考慮して選定した。今回あげていない分については、週に1回1時間ぐらいとか、使用頻度が低い教室となっている。



(仮称) みんなの公園 全体事業費〔予算ベース〕

(単位:千円)

区分	平成29年	平成30年	平成31年	合計
事業費 (合計)	5,545	237,828	348,956	592,329
用地費		98,409		98,409
委託費	5,545	34,137	11,056	50,738
工事費		104,804	337,900	442,704
その他		478		478

江北さんいらっしやい!!



各戸の前で唱えながらたたく

もぐら打ちの由来

五穀豊饒・家内安全・子どもの健康を祈る儀式。九州各地で行われており、観音下区ではしばらくすたれていたが、40数年前に復活され今日までつづいている。ことしも、1月14日小正月に区の公民館に幼児小中学生20名余りがあつまり、夕方4時から数班に分かれて区内150戸余りをまわった。そのときの唱えごと

● 観音下もぐら打ち

本年正月十四日のもぐら打ち ねぎだい叩いて祝い申そう

♪なれなれ柿の木干なれ万なれ明日の晩までなーれ

♪よそんもんのちんぎるときやときや掘りの真中落ちろ

♪うちんもんのちんぎるときやときや畑の真中落ちろ

おかちんのおごんでも太かとからおくんさい

編集後記

「平成最後の・・・」この言葉を最近よく聞く。新時代への期待が高まる中、去りゆく平成に思いを馳せる方も多い。私もその一人だが、振り返ると平成にプラスの印象をあまりもてない。ネットや携帯電話の普及により暮らしは便利になったが、人々の繋がりは希薄になり、ネットを介して得られる機械的な情報が重要性をもった。昭和生まれの私は、地域が家族性を持つていた古き良き昭和に憧憬が募る。新時代突入の際、リセットも大事だが、昭和・平成への感謝の気持ちをもって迎えた。3月には「平成最後の」江北町定例議会がある。議員一丸となつて江北町の新時代の幕開けに花を添えたい。(金丸)

広報委員

三吉 紀美子
土淵 茂勝
淵上 正昭
金丸 祐樹